

マインドマップと色分け法を用いた MeSH と情報整理の日常学習

小嶋 智美

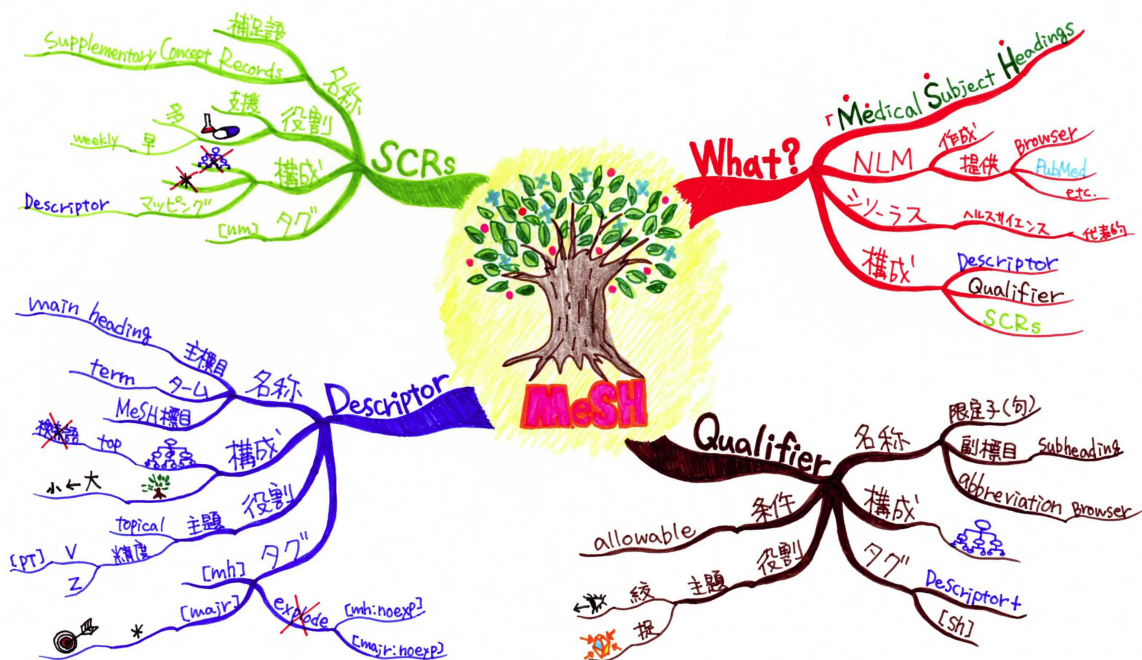
NPO 法人日本医学図書館協会 (JMLA) 正会員個人
ヘルスサイエンス情報専門員中級

医学情報サービスの専門職にとって、MeSH (Medical Subject Headings) を理解し、ヘルスサイエンス分野の情報整理に活用することは、基本的な知識・技能のひとつですが、あらためて学ぶ機会は少ないのではないのでしょうか。ひょっとすると、日々の忙しさに追われ、学習の機会を自ら逃しているのかもしれませんが。

発表者は、親しみやすい素材をもとに、マインドマップ (Mind-Map) と色分け法 (Color-Corded) を用いて、無理なく楽しく日常的に学習を続けています。あくまでも個人的な学習法であり、専門的なレベルには達していないかもしれませんが。しかしながら、今回の発表が MeSH や情報整理について学ぶ、あるいは学びを続けるコツをつかむなど、何らかのきっかけになれば幸いです。

当日は、みなさんの「学び方」も、ぜひご教示ください。

本発表は、東海地区医学図書館協議会平成 23 年度実務担当者会議 (平成 24 年 2 月 24 日、愛知医科大学にて開催) での講義「主題分析を学ぶ：コミュニケーションツールとしての MeSH」で行った演習と同様の内容を含みます。



MeSH の概要をまとめたマインドマップの例 (小嶋作成)

2022.2.19 Satow^Q